

第2回知の市場年次大会

2011年3月1日

# 知の市場と消費者運動

主婦連合会

事務局長 佐野真理子



# 主婦連(しゅふれん)とは…

- 1948年9月 誕生
- 戦後の混乱期「台所の声を政治に」と立ち上がった主婦たちが結成
- くらしの苦情を社会化し、消費者を守る制度や法律制定のために活動
- 消費者の団体と個人の全国組織



# 消費者運動の目的

- 個々の消費者が集う(消費者団体・グループ)  
一人では解決できない問題範囲の拡大
- 消費者の権利の実現を求め、権利の侵害にモノ申す
- 消費者の目線をあらゆる消費者政策に反映させる
- 世界の消費者と連携する



# 消費者運動推進の課題と展望

- 「理論」と「実践」の相互連携
- 消費者運動に課せられる「調査なくして発言なし」
- プライベートとパブリック
- 「知の市場」への参加と意義
- 互学互教、現場基点、社会学連携



# 主婦連合会と「知の市場」

- 09年度「共催機関」として参加
- NITE(製品評価技術基盤機構)と早稲田大学
- 「製品の安全性」(製品総合管理特論～製品安全対策の基礎知識～)
- 身近な製品事故をどう防ぐか(背景、原因究明の視点、防止制度、海外状況)
- 主婦連の取り組みの過程で活用、提案(NITEのスリー・ステップメソッド)
- 11年度「化学物質のリスク管理のあり方」をスタート



# 消費者運動と「知の市場」(1)

- 各種消費者講座への反映
- 理念・理論と実践的学習
- 調査活動(情報収集・情報分析)の視点の育成
- 実践的学習を踏まえた運動への反映
- 学び合い・教え合う、認識の共有
- ボランティア精神とイニシアチブ



## 消費者運動と「知の市場」(2)

- 専門的知識の習得
- 専門的知識の共有
- 専門的知識の普及
- 専門的知識の活用と実践
- 「相互(mutual)」「共生(symbiosis)」「利他(altruism)」  
——新しい社会創造へのステップ